

## 完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 こんせんせいぶ 根釧西部森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の東部に位置し、根釧西部森林管理署管内の1市6町1村に所在する約182千haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ（48%）、カラマツ（31%）を主な樹種に約58千ha、天然林面積は約110千haを有し、資源の目安となる蓄積は北海道の平均136m<sup>3</sup>/haに対して152m<sup>3</sup>/haとなっている。水源涵養を主な目的として総面積の約95%が保安林に指定され、基幹産業の酪農や沿岸漁業の振興に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区のうち当署管内は、壮大な蛇行河川が流れる日本最大の釧路湿原、透明度が高い摩周湖など、優れた景観を有する。湖沼群や湿地が点在し、阿寒湖では希少な藻類、国の特別天然記念物のマリモの生息域が広がる。そのため、阿寒摩周国立公園や釧路湿原国立公園などに指定されている。これらの環境資源の保全に資する観点から、河川流域の保全に配慮した施策が求められる。</p> <p>また、雌阿寒岳・雄阿寒岳周辺の風景林は保健休養の場として活用され、昆布森シレパ自然休養林や美羅尾野スポーツ地域は野外活動の場を提供している。さらに、川湯温泉をはじめ、多くの温泉資源にも恵まれているため、観光資源としての特性も兼ね備える。</p> <p>別寒辺牛川流域に位置する大規模なカラマツ造成地「パイロットフォレスト」は、カラマツ材の利用拡大に向けた計画的な森林経営の推進や、生物群集保護林として森林生態系の保全に寄与し、森林環境教育の場としても活用されている。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約86%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約55%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、資源の循環利用の観点から森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、カラマツ材の利用促進、さらには森林吸収源対策に寄与するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 859 ha 保育面積 14,188 ha 路網整備 開設延長 21.1 km 改良延長 0.2 km</p> <p>・総事業費 4,763,960 千円（税抜き 4,460,267 千円） （平成23年度の評価時点 5,615,773 千円（税抜き 5,348,355 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 53,610,123 千円（平成23年度の評価時点： 51,310,076 千円※） 総 費 用（C） 9,099,866 千円（平成23年度の評価時点： 7,256,362 千円※） 分析結果（B/C） 5.89（平成23年度の評価時点： 7.07 ※）</p>		

② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、森林吸収源対策など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</li> <li>・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの通勤時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費縮減が図られた。</li> <li>・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。</li> </ul>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。</li> <li>・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。</li> </ul>
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。</li> <li>・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。</li> </ul>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業就業者数は長期的に減少傾向で推移する中、本地域でも平成17年度の475人から平成27年度には313人に減少しており、林業の高齢化率（65歳以上の割合）は他産業の平均と比較して高い水準にある。</p> <p>また、道内では木質バイオマスによる発電の取組が展開され、林地残材の需要拡大が見込まれるため、気候変動対策の観点から、森林吸収源対策の促進や木材の安定的な供給を通じて地域経済の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い機械作業システムの定着が図られており、高性能林業機械のオペレーターなど、担い手の確保とともに林業技術者の育成が重要である。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>本格的な森林資源の利用期を迎え、持続的利用を図りながら森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に実施する必要がある。</p> <p>再造林費用を低減するため、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化に資する取組を推進するとともに、天然力を活用した施業の構築など、多様な取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>事業実施に関する地元意見は以下のとおり。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>（釧路市）</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的な機能の維持・促進が図られたものと評価する。また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれる。</p> <p>釧路市においても地域材の安定供給及び雇用の創出を目指すべく、計画的な森林整備を実施していることから、主要産業の一つである林業・木材産業の発展のため、今後も同事業の継続を要望する。</p> <p>（釧路町）</p> <p>釧路町内の国有林は、北部の海岸線に水源涵養、防霧保安林が多く所在しており森林整備事業により保安林機能や森林の有する多面的な機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>今後も、適切な森林整備の実施及び地域民有林事業者等のモデルとなるような森林整備事業の実施をお願いしたい。</p> <p>（厚岸町）</p> <p>厚岸町は、基幹産業である水産業の増殖や酪農業の環境保全、更に水資源確保に森林の持つ多様な機能は不可欠となっており、森林は環境資源として強く認識している</p>

	<p>ところであります。そのため、今後も森林整備事業の実施により、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望します。</p> <p>(浜中町) 森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能が発揮されることを期待する。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう事業の継続を要望する。</p> <p>(標茶町) 国有林は周辺に水資源保全地域が設定されている地域もあることから、間伐等森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能と良好な森林がされ評価することができます。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう事業の継続を要望します。</p> <p>(弟子屈町) 弟子屈町内の森林のうち、国有林の占める割合が高く、森林整備が確実に実施された事は十分に評価できるものである。</p> <p>今後も、同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(鶴居村) 鶴居村の水資源地域の上流域に位置する国有林において、森林整備事業が実施されたことにより、水源涵養、林地保全等、森林の有する多面的機能の維持、造林が図られたものと評価する。</p> <p>また、茂雪裡地区においては、主要産業の一つである酪農業の営農用水を国有林内より取水しており、水質、水源の保全及び地域住民の民生の安定の観点から、今後も、造林、間伐等の森林整備事業の継続を要望する。</p> <p>(白糠町) 白糠町の広大な森林を管理する国有林野事業において広域にわたり事業推進がなされていることについて高く評価します。</p> <p>また、豊富で良質な水資源の安定供給は必須であることから、今後も森林の持つ多面的機能が持続的かつ高度に発揮できるよう事業の継続を要望します。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本事業は、「マリモ」など貴重な生物の生息域の保全や基幹産業の酪農や沿岸漁業の振興に資する観点から、森林の有する水質浄化や水源涵養機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、保健文化機能の維持増進などに寄与する観点からも、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 事業採択時と比較すると、事業量の変動などによりB/Cは低減したが、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や森林吸収源対策に寄与していることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

※平成23年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：釧路根室森林計画区(根釧西部森林管理署)

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	12,193,488	
	流域貯水便益	3,993,829	
	水質浄化便益	14,727,993	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,807,486	
環境保全便益	炭素固定便益	4,325,126	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	94,605	
	木材利用増進便益	69,974	
	木材生産確保・増進便益	876,566	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	7,530	
	森林管理等経費縮減便益	55,579	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,457,947	
総 便 益 (B)		53,610,123	
総 費 用 (C)		9,099,866	
費用便益比	$B \div C = \frac{53,610,123}{9,099,866} = 5.89$		

# 森林環境保全整備事業 釧路根室森林計画区 事業概要図（根釧西部森林管理署）

